

といへり古写本の解なりまの緒なりまを放しゆる
りもそまをとりぬしと云

鳥度れらふみの鷹やちのといふまのころもきやうもむ

古語は鳥府とく希有の物やちのといふ初鷹と云ふを從
可尋之八重羽の雉は三足ありくもハ却く鷹と踏らるを
や鳥府の鷹ハ三足の雉もくもむわどの逸物あるりのやと
ありく明解なり古写本の註ゆ初句ぬきむと凡鳩本も
むきむとわきハ此方とくえ安くくもと云冠辞と云ふ

古写本の解ゆき二句と云といへりくもとてあはれ
ころもきや三足の鳥明王の御時ゆる也延喜の御門の